



もったいないの心を大切に!

No.30

環境タイムズとやま

やま
とやま
環境
タイムズ

富山県環境保全協同組合 発行所/富山県富山市野々上字地送6番地 TEL (076) 434-2802 FAX (076) 434-4440
URL <http://www.kankyo-hozen.net/toyama/>



雄山から見下ろした一の越

【主な記事】

- ・ 理事長挨拶
- ・ 平成30年度通常総会
- ・ 平成30年度事業計画
- ・ 一般廃棄物適正処理推進大会in群馬
- ・ 新組合員の紹介
- ・ 第4回青年部事業推進協議会・研修会
- ・ 北陸環境保全協会事業
- ・ 第29回行政懇談会
- ・ 表彰受賞祝賀会
- ・ レポート・寄稿文
- ・ 第26回立山環境美化登山



雨晴海岸から望む立山連峰



ご挨拶

富山県環境保全協同組合 理事長 廣瀬 淳

5月8日に開催されました総会におきまして、理事長に就任いたしました。

組合員の皆様には、平素から廃棄物の適正処理や環境問題に積極的に取り組まれるとともに、様々な事業運営にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

上田前理事長におかれましては4期8年に渡り組合の発展のためご尽力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。また、平成30年6月には一般社団法人全国浄化槽団体連合会の新会長に選出されましたこと心よりお祝い申し上げます。全浄連は浄化槽に関する「製造、設置工事、保守点検、清掃、検査の5業種」を網羅した全国団体であり当組合におきましても上田会長による展開におおいに期待するところであります。

昭和35年に富山県汲取同業組合が設立されその後、富山県清掃協会、富山県環境保全協会を経て昭和62年に富山県環境保全協同組合は設立されました。富山県一円をエリアとする一般廃棄物処理業者の団体として半世紀を越え、廃棄物の適正な収集運搬・処理、浄化槽の適正な維持管理による生活排水の処理を推進し富山県内の生活環境のみならず、自然環境の保全にも業務を通じ貢献しております。

組合員各社は一般廃棄物処理の創成期から携わり、多くの課題を乗り越え現在に至っております。先人の労に感謝をするとともに、美しい未来に発展承継できますよう持続可能な社会づくりを

めざし一致協力し、地域の環境保全に一層の貢献を果たしていけるよう努力し続けております。

一般廃棄物の適正処理を確実に遂行することが社会使命であり、行政と手を携え、し尿・ごみ・生活排水における安心・安全を確保し、如何なる状況においても滞ることのない業務体制を構築していくことが責務であります。

し尿収集運搬業務においては年を追うごとに業務量が減少し、安定経営が困難になっている状況がみられ、廃棄物処理法の委託基準ある「委託料が受託業務を遂行するに足る額であること」とされていることを鑑み、各市町村においても改めて原価計算をお願いし適正処理及び安心・安全の確保ができるよう働きかけをしていく必要があります。また、「下水道の整備に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」も県内においては十分な理解が浸透しているとはいえません。将来構想策定のため現状を調査・分析し、市町村に提案できるよう議論をして参りたい考えです。

組合員各社の歴史に培われた英知と経験、一般社団法人 日本環境保全協会や一般社団法人全国浄化槽団体連合会とのネットワークを駆使し、社会のニーズに的確に対応し一般廃棄物処理におけるプロ集団としてさらなる信頼性の向上と業界発展に努力してまいり所存です。

皆様のご健勝とご多幸、益々のご発展をご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

富山県環境保全協同組合 平成30年度第32回通常総会 《清掃協会・環境保全協会から 58 回目》

〈議 案〉

- 第1号議案 平成29年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成29年度収支決算承認の件(監査報告)
- 第3号議案 役員改選
- 第4号議案 平成30年度事業計画(案)承認の件
- 第5号議案 平成30年度収支予算(案)承認の件
その他



《平成30年度事業計画》

前年度事業を承継し深化を進め、協同組合と会員各社が相互の業務の発展と安定化を図り、両者が行う社会貢献活動を推進し、一般廃棄物処理事業の社会的地位の向上と組織力の強化を進める

担当	委員会	計 画	内 容
副理事長	組合事業	廃棄物の処理及び清掃各業務の委託・許可・営業既得権益の確保に邁進する	一般廃棄物収集運搬マニュアル作成 市町村へ訪問説明
		県や市町村が行う下水道整備計画に伴って生ずる「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」に基づく代替業務、および転配交付金の獲得に総力を結集し、関係機関に対し強力な陳情、要望要請活動を進める	要望書 将来構想
		市町村の固有事務であるし尿収集運搬業務の実態を訴え、相互連携して法令を遵守し、適正料金への改正運動を進める	原価計算書の作成 市町村
		共同購入事業の円滑な推進を図り、資材の共同購入事業の拡大を図る	共同購入の拡大
副理事長	研修開発	浄化槽の保守点検及び清掃技術向上のため、講習会の開催及び啓蒙活動の実施、また、優良団体及び事業所の視察や業界の動向収集・分析を行う	先進地視察 研修会開催
		廃棄物の適正処理及びリサイクルを推進し、地域の環境保全と循環型社会の構築に寄与する	懇談会の開催
		将来に渡り持続可能な一般廃棄物処理事業の構築を図り、組合員相互が団結と融和をもって取組む	現状認識と将来予測
		震災復興の支援の経験を生かし、災害時のBCP（事業継続計画）作成と危機管理行動の研究を行う	復興の支援と震災対策から学びマニュアル作成
専務理事	総務・広報	組合および組合員各社の認知度の向上や、環境問題の啓蒙を図るため、ホームページを充実させ情報の発信を行う	会報の発行 HPの更新・活用 各社の地域貢献事業の広報
		労働災害や交通事故を防止し、労働安全衛生の推進を図る	安全対策
		行政機関及び関係団体との連携を強化する	日本環境保全協会、北陸環境保全協会の事業参加
		組合員の貢献に対し、行政や関係団体の表彰に積極的に推薦を行う	国、県ならびに関係団体からの表彰
	青年部会	組合を通じ、行政機関及び関係団体と連携し社会貢献活動を行う	立山環境美化登山

平成29年度一般社団法人日本環境保全協会 一般廃棄物適正処理推進大会in群馬

- 開催日：平成29年11月9日(木)
○会場：伊香保温泉 ホテル木暮
○参加者：上田勝朗、嶋田仁司

平成29年11月9日一般廃棄物適正処理推進大会が群馬県で開催されました。

特別講演として、環境省廃棄物適正処理推進課の瀬川恵子課長による「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向」と群馬県環境森林部の須藤正樹部長の講演がありました。その後懇親会が盛大におこなわれました。

平成29年度(一社)日本環境保全協会会長表彰では、(株)高岡市衛生公社代表取締役社長の島小一氏が特別顕彰第2種を、日環サービス(有)嶋田

仁司氏が功労会員表彰をそれぞれ受賞されました。優良事業従事者表彰では、(株)魚津清掃公社の蔦浩一様、早勢英一様のお二人が表彰されました。



瀬川恵子 廃棄物適正処理推進課長の講演



新組合員の紹介 (平成30年1月5日入会)



日環サービス有限会社の嶋田充宏です。

趣味は、サッカーで、学生時代からずっとやっていました。社会人になってからは、主にフットサルの方に力を入れ、練習していますが若い時より動けなくなったのが最近ショックを受けています。

この組合に参加させて頂いたことに、大変うれしく感じるとともに、一会員としての責任を重く受け止めています。

まだまだ若くいたらないことも多々あると思いますが、皆様のご指導を賜りながら、少しでも当組合に貢献できるよう頑張りたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

日環サービス有限会社 代表取締役 嶋田 充宏

生年月日 1985年3月14日

一般社団法人日本環境保全協会 「平成30年新春特別講演会・新年賀詞交歓会」

○開催日：平成30年1月18日(木)

○会場：ホテルグランドパレス

○特別講演会

演題：「一般廃棄物処理業の法的位置付けと
判例動向について」

講師：顧問弁護士 伊藤 慎也 氏

○参加者：上田勝朗、島 正己、廣瀬 淳

一般社団法人 日本環境保全協会の平成30年度新春特別講演会・新年賀詞交歓会は平成30年1月18日(木) ホテルグランドパレスにおいて開催されました。

新春特別講演会は伊藤慎也(一般社団法人 日本環境保全協会顧問弁護士)先生に「一般廃棄物処理業の法的位置付けと判例動向について」のご講演があり、一般廃棄物について「処理は市町村

の責務であること」「確実な履行が最優先で委託料の低廉化は後退」「随意契約の適法性」「自由競争に委ねられるべき性格の事業とは位置付けられていない」「処理業者は他の者にされた許可に対し取消訴訟における原告適格を有する」など、判例動向をふまえた内容で、今後の持続可能で適正な業務を遂行するにあたり充実した内容でした。

また、環境保全議員連盟総会にも出席させていただきました。

新年賀詞交歓会は環境省から中川雅治環境大臣をはじめ多くの方にご出席をいただき、国会からも山東昭子先生や大西英男先生、今井絵理子先生方もお見えになり皆様と懇談をさせていただきました。



環境保全議員連盟の皆様



丸川珠代元環境大臣を囲んで

(一社)日本環境保全協会 平成30年度定時総会及び中央事業 ＝「特別講演会」・「懇親会」・「環境機器展」＝

○開催 日：平成30年6月7日(木)

○会 場：ホテルグランドパレス

○第5回定時代議員会

議事報告

- 1.平成29年度事業報告について
- 2.平成29年度収支決算承認について
(第1号議案)
- 3.定款一部変更について(第2号議案)
- 4.役員選任について(第3号議案)
- 5.平成30年度事業計画について
- 6.平成30年度収支予算について
- 7.その他

○特別講演会

演題：「今後の日本の構造的変化に対応した
廃棄物処理について」

講師：前麻生大学大学院教授

元厚生省容器包装リサイクル推進室長

早川 哲夫氏

○環境保全議員連盟総会

○懇親会：ダイヤモンドルーム(2階)

○第52回環境機器展



環境保全議員連盟の皆様



稲田朋美元防衛大臣を囲んで

一般社団法人日本環境保全協会 「第4回青年部事業推進協議会・研修会」

○開催日：平成30年3月14日(水)

○会場：

一般社団法人東京環境保全協会 大会議室

○研修会：

演題：「円満な労使関係を築くために
会社がすべきこと」

講師：杜若経営法律事務所
弁護士 岸田 鑑彦 氏

○懇親会会場：ホテルグランドパレス 四季
(地下1階)

■一般社団法人日本環境保全協会 第三回青年部事業推進協議会・研修会

富山県環境保全協同組合青年部 針田 慶

平成30年3月14日に、一般社団法人日本環境保全協会の第4回青年部事業推進協議会・研修会並びに懇親会が(一社)東京環境保全協会大会議室にて開催され、原野部会長他4名で参加してきました。

研修会は「円満な労使関係を築くために会社がすべきこと」と題して、杜若経営法律事務所の弁護士である岸田鑑彦^{きしだ あきひこ}氏の講演が開催されました。近年労働者側から増えつつある相談内容や労使関係でのトラブルの事案などをもとに、事業主として知っておくべきこと、気をつけておくべきことなどの解説があり、事業者側として身近に感じる部分が

大変多くありました。特に昨今人手不足に悩む運送業界での長時間勤務のトラブル事案は深刻なケースが多く、事業主が事前に規則を備えているかが大変重要であることを改めて実感する内容でした。円滑な労使関係の構築のためには、まずは経営者が就業規則をしっかりと理解していること、普段から従業員の方とコミュニケーションが取れていることなどが大変重要であると解説をいただくことで、理解しているようで理解していない部分や出来ているようでできていない部分に再度目を向けて取り組んで行く必要があると感じることができました。

研修会後は場所をホテルグランドパレスに移動し、懇親会が開催されました。同席した各所の青年部の皆さんを中心に、多くの方と意見交換をすることができ大変有意義な時間となりました。各団体青年部の事業報告・活動状況報告の時間で、当組合青年部が設立35年を迎えることを報告し、記念事業と祝賀会に多くの方に富山県へ足を運んで頂けるようお願いをしてきました。

本年度も先輩方のご指導を頂きながら、原野部会長、山内・竹林副部会長と共に青年部会一同で環境や地域のため、また業界の発展のために若い力で盛り上げていきたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



北陸環境保全協会 平成29年度全体会議

- 開 催 日：平成29年9月13日(水)
 ○会 場：あわら温泉「まつや千千」
 ○会 議：
 議題 ①平成28年度会務報告並びに収支決算報告
 ②各県の現状報告
 ③その他

平成29年度北陸環境保全協会全体会議は、福井県 芦原温泉「まつや千千」で開催されました。(有)小矢部衛生工業の長田 聖真様が平成29年度功労会員表彰を受賞されました。総会では議題の他、各県の現状について報告後、今後の一般廃棄物業について意見交換を行いました。



(公財) 廃棄物・3R研究財団の藤波博氏研修会

- 開 催 日：平成30年2月7日(水)
 ○会 場：富山県民会館301号室
 ○企 画：研修開発委員会
 ○講 師：公益財団法人 廃棄物・3R研究財団調査部 藤波博氏
 ○議 題：一般廃棄物の現状と今後の課題
 ○出 席 者：16名

3R活動推進フォーラム開催を控え、フォーラムの専任理事をつとめられる廃棄物・3R研究財団の藤波氏に「一般廃棄物の現状と今後の展開」と題して、廃棄物処理法の変遷と循環型社会形成推進基本法の骨子についてや今後必要とされる業界の取り組みなどについてお話いただきました。2015年に国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の合意について、自治体はどのような取り組みを行っているかをご紹介いただき、私達の業界は積極的に新たな政策と関わり持っていく必要がある事や、環境関連情報の収集を行い続ける必要がある事を改めて認識する機会となり、大変有意義な時間となりました。

富山県環境保全協同組合青年部 針田 慶



富山県生活環境文化部環境政策課との研修会

- 開催日：平成30年1月11日(木)
 ○会場：富山県民会館706号室
 ○企画：総務委員会
 ○講師：富山県生活環境文化部
 環境政策課 班長 九澤和英氏
 主査 木原 忍氏

- 内容：「廃棄物処理法等の改正への
 対応について」

1. 廃棄物処理法等の改正への対応について
 - ・有害使用済機器(雑品スクラップ)対策について
 - ・水銀使用製品廃棄物について
 - ・PCB廃棄物について
2. 不適正処理の防止について
 - ・野外焼却の注意喚起について
 - ・事例の情報提供について

廃棄物処理法等の訂正への対応、不適正処理の防止について説明をいただきました。

有害使用済機器の対策についてや、水銀使用製品廃棄物、PCB廃棄物の処理方法の対応や、野外焼却の注意喚起の説明などとても内容の濃い研修会になりました。



富山県生活環境文化部環境政策課・富山県環境保全協同組合 第29回行政懇談会概要

- 開催日：平成30年7月18日(水)
 ○会場：富山県民会館707号室
 ○ご来賓：富山県生活環境文化部環境政策課
 課長 矢野 康彦氏
 主査 八田 哲典氏
 主任 木原 忍氏

○出席者：21名

《講演》

- 演題：「これからの廃棄物行政の動向について」
 ○講師：富山県生活環境文化部環境政策課
 主査 八田 哲典氏

講演内容：

- ①富山県全域下水道ビジョン2018(案)
- ②3R推進全国大会に向けた取組みについて



○議題：

- ①浄化槽警報装置の義務付けについて
- ②解体等に伴う一般廃棄物の扱いについて
- ③単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への提案
- ④無管理浄化槽の対策について
- ⑤道路上での廃棄物について
- ⑥有価物の定義について
- ⑦国のCO2削減目標について
- ⑧無料回収業者について
- ⑨適正な浄化槽の維持管理について
- ⑩一般家庭から排出される産業廃棄物の処分について



表彰受賞祝賀会

《環境省環境再生・資源循環局長表彰》

受賞日：平成29年10月2日
富山県環境保全協同組合副理事長
クリーン産業(株)



代表取締役社長 針田 正尚 氏

《国土交通省土地・建設産業局長表彰》

受賞日：平成29年10月2日
富山県環境保全協同組合前組合員
日環サービス(有)



前代表取締役社長 嶋田 仁司 氏

《受賞記念祝賀会》

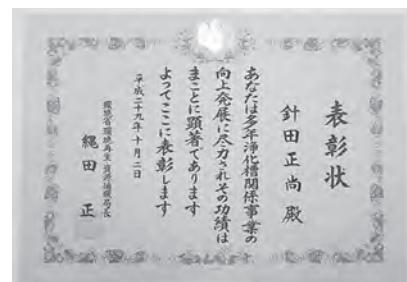
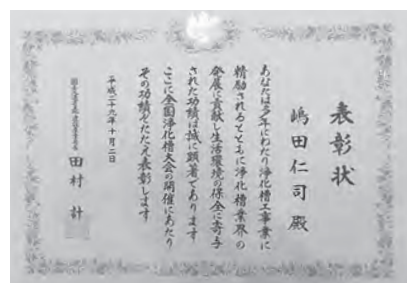
◇発起人：上田勝朗・廣瀬 淳・長田聖真

◇開催日：平成29年11月27日

◇会 場：オックスカナルパークホテル富山

◇出席者：組合員19名・事務局1名

竹林 悟・竹林 亨・上田勝朗・
山内大輔・廣瀬和夫・廣瀬美津子・
廣瀬 淳・数井勝己・針田 慶・
原田義夫・金井武史・赤壁博之・
島 小一・定塚慎太郎・島 尚之・
出村康夫・原野 誠・長田聖真・
藤永吉成・渡邊一葉



千葉県環境保全センター青年部会との事業報告会及び交流会

- 開 催 日：平成29年10月20日(金)
○会 場：創菜酒楽 静月
○企 画：青年部
○出 席 者：34名(富山県16名、千葉県18名)

(公社)富山県浄化槽協会青年部と合同で(一社)千葉県環境保全センター青年部の皆様と情報交換交流会を行いました。お互いの活動報告を行い各地域における活動実績及び今後への課題など情報を共有することができ大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。



生活排水処理対策を推進するために、浄化槽業界が積極的に提案活動

一般社団法人全国浄化槽団体連合会 会長 上田 勝朗

昭和52年5月に発足した全国浄化槽団体連合会(全浄連)の第10代会長に就任しました。過去を見ると一番若い会長らしいです。最近は毎週東京出張で新幹線がもっと早くならないのかと思うようになっていきます。きっと北陸新幹線に乗った回数が100回を超えたのではないのでしょうか。

新聞社の社長と親しくしていたので、メールで会長就任のご挨拶をしたら、すぐ担当記者の方から電話取材があり、就任したことが記事になり、新聞社に挨拶に行ったことで掲載、「けさの人」で詳しく紹介していただきました。新聞の影響というのは大きいと、改めて感じました。取材のとき、記者の方に興味を持ってもらうためにたくさんの資料を渡しました。私が紹介されることが浄化槽のPRになるのだと思っています。

さて、全国浄化槽団体連合会といっても、行くまでは詳しく説明できませんでした。ホームページを見ていただければご理解いただけると思いますが、浄化槽に関する「製造、設置工事、保守点検、清掃、検査」の5業種を網羅した全国47都道府県団体の集まりです。

平成26年度に富山県浄化槽協会の会長に就任し、全浄連では監事に就任しました。運良く監事は親しくしている環境文明研究所の加藤三郎所長と一緒にしました。2年目に現在日本環境保全協会の山条忠文会長と一緒に担当しました。次の年、これまで富山県にはなかなか回ってこなかった理事になり、同時に北陸地区を代表する副会長に就任しました。常に背伸びをしながら、それでも意見は自由に言わせてもらえたので、気持ちよく正副会長の常任理事会に参加していました。年度途中で日本環境保全協会の副会長で親しくさせていただいていた佐藤祐さんが会長になられ、全浄連を正しく改革するために執行部体制をとることになり、正副4人の一人に指名され、尊敬する会長の下で積極的に動きました。全浄連4年目には、環境省の「二酸化炭素排出抑制、省エネ型浄化槽の機械設備更新補助事業」が入ってきて、ますますやりがいをもって活動しました。今年2月、佐藤祐会長が急逝され、翌日執行部3人が集まり今後の対策を協議しました。年度末を迎え、また新年度の計画など止まっていられない時期でした。3月の会長とのお別れ会には私は病院のベットの上でした。3年前にご夫婦で富山に来ていただいたこともあり、

お線香を送って失礼しました。全浄連の理事会で若返りの長期政権という意見が出て、これまでの会長で最年少の会長就任となりました。

今年の活動スローガンは「次世代へ、水の架け橋、浄化槽」です。生活排水処理を下水道と浄化槽の役割分担と位置付け、行政における財政的な適材適所で整備をしていくことが大切だと思います。未来に向けて今何をしなければならないのか、優先順位を考え、名水日本を守っていく役割を担っていると考えています。

大きな事業として、「単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に転換」・「財政にやさしい浄化槽整備区域の拡大」・「災害に強い浄化槽を避難所になる公的施設への浄化槽設置」・「浄化槽台帳システムの整備促進」・「二酸化炭素排出抑制の観点から省エネ型浄化槽設備への更新補助事業」など7つの委員会をこれまで以上に活発に動かして成果を上げていきたいと思っています。そのために、委員会においてテレビ会議を導入しました。旅費をかけずに何回でも委員会が開催でき、欠席してもあとで録画が見られる。委員でなくてもオブザーバーで参加できる。新時代の道具を使って委員会にはテーマを渡して1年間で答申を出してもらいます。少しずつでも進んで行くことが大切です。環境省などの国の関係省庁、国会議員による浄化槽議員連盟、時には大臣と直接話もさせていただいています。浄化槽法は議員立法で作られた法律で、改正しなくてはならない部分もあり、議員連盟の皆さんと協議しながら法律改正も必要だと考えています。

昭和56年に社団法人富山県浄化槽協会の監事に就任して37年になります。たくさんの経験と多くの人とのネットワークができました。大変ですがやりがいをもって、業界の現場からの提案として、こだわりを持って活動していきます。ホームページやフェイスブックなどでも発信していきます。多くの皆さんの情報にも期待しています。



美しい富山湾を未来へ

射水市議会議員 島 正己

我が国では1996年（平成8年）から「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として「海の日」が施行されました。「世界の国々の中で『海の日』を国民の祝日としている国は唯一日本だけ」と言われております。

日本は四方を海に囲まれた海洋国家で海なしでは日本の繁栄はないと思います。

富山湾が、平成26年10月にユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟。国内では、日本三景の一つ、松島湾（宮城県）について2箇所目で日本海側では初めてで、“海越しの雄大な立山連峰に虹が島の絶景”の景観が素晴らしいだけでなく、定置網による水産資源の保護活動や清掃活動による海岸保護、ホタルイカ、寒ブリ、シロエビなど神秘的な海として興味深い動植物が存在するなどとともに、これまでの県民総ぐるみで環境保全活動に取り組んできたことなどが評価され加盟が承認されたものと思います。

県内では平成27年から毎年、「全国豊かな海づくり大会」、「G7環境相会合」、「全国植樹祭」、本年10月の「3R推進全国大会」、来年の「世界で最も美しい湾クラブ総会」と、5年連続で「環境」を主たるテーマとした大規模な大会が富山県で開催されることにより、県民の海を含めた環境の保全に関する関心も高まってきていると思います。

一方で富山湾を取り巻く状況は大きく変化しています。海岸一斉美化活動にも関わらずごみが無くならず、地球温暖化による影響か生態系の変化や漁獲量の減少、異常気象による大雨や洪水など過去の記録を大きく上回る自然災害の発生による流木の増加、またプラスチックなどの分解しないごみの大量流出等により海岸漂着ごみが、大雨や台風の来襲のたびに、せっかくの美しい富山湾の景観を損ねてしまいます。富山湾の海岸漂着物をみると、ほとんどの海岸でアシなどの草類や流木と言った自然物が高い割合を占めていますが、富山県などが昨年9月氷見市松田江浜で行った海岸漂着物調査では回収した漂着物2746個の8割がプラスチック類など人工物のペットボトル、プラスチック容器・キャップ、レジ袋、発砲スチロール類などで、日常生

活に伴って発生する物が多いとしています。

また、環境省が実施したシュミレーション結果では、富山湾の海岸漂着物等の約8割が県内から流出したものであり、さらに流出したごみが他地域にも漂着している可能性があるとしています。また、富山県内の海岸環境についてのアンケート調査（平成29年度富山県）結果では、漂着ごみに占める地元のごみ割合が新潟、富山、石川、福井、京都、島根県の日本海側の中でも富山県が約8割と非常に高い割合となっています。こうして上流域から流出するごみによる海岸環境の悪化防止が大きな課題となっております。

こうしたごみの中でもプラスチック製のレジ袋やペットボトル等は物理的な摩耗（波にもまれ、他のプラスチックごみや岩砂との衝突による摩耗）、紫外線、温度の変化、塩分に曝され、劣化して、微細化されます。こうして5ミリ以下のマイクロプラスチックになり、これがポリ塩化ビフィニール（PCB）など有害物質を吸着して魚介類に取り込まれ食物連鎖を通じて生態系を壊し、人の健康を脅かすとの懸念が指摘されています。このため多くの国や地域が規制に乗り出しています。

米国コーヒーチェーンスターバックスやハンバーガーチェーンのマクドナルドは全世界の店舗で使い捨てプラスチック製ストローを廃止し紙製のストローへ切り替える方針を発表しました。

欧州連合（EU）の欧州委員会は5月末、ストローなど使い捨てプラスチック製品を禁止する新ルールを加盟国と欧州議会に提案しています。

一昨年、富山市で行われたG7環境相会合では、世界の海を漂うマイクロプラスチックについて「海の生態系の脅威」との認識を共有しました。ところが本年6月にカナダで開かれたG7首脳会議で海のプラスチックごみ削減の数値目標を盛り込んだ「海洋プラスチック憲章」を採択しましたが、日本は米国と共に署名を見送り後ろ向きな印象を与えました。日本政府は「海洋プラスチック憲章」に署名しなかった理由として、プラスチックごみを削減するという趣旨には賛成しているが、国内法が整備されていない現状で産業界や消費者など社会に与える影響が現段階でわからず署

名でできなかったと説明しています。

一方、国内では本年6月15日、海洋汚染への影響が指摘される微細なマイクロプラスチック削減に向けた対策が盛り込まれた「改正海岸漂着物処理推進法」が国会で可決成立しました。製造や販売の自粛などを産業界に求める条文が盛り込まれましたが努力義務にとどまっています。今後日本は議長国を務める来年6月大阪で開催されるG20首脳会合までに廃プラ対策等の国家戦略を策定するとしております。もっと踏み込んだ対策を期待したいと思います。

富山湾の海岸線を歩くと、特に天候の荒れた後にはアシや流木の中に無数のプラスチック類ごみが打ち上げられている光景を目にします。美しい海の景観や環境を守るには、海岸を有する地域のみならず河川の上流域を含めた県内全域住民で、ごみのポイ捨てや不法投棄を防止するなど、海に流れ出るごみを減らすための意識改革と行政、住民の相互協力によるごみ発生抑制に取り組むなど、大量の海岸漂着ごみに悩まされる地域の一人として対策の強化を求めたいと思います。



H30.7.19 大量の流木やごみが漂着した島尾海岸の様子

本県における3Rの取り組みについて

1 はじめに

4月1日付け人事異動で生活環境文化部長に就任しました。環境分野の仕事に就くのは、平成18年に環境政策課に勤務して以来で、当時、第1回エコライフ・アクト大会を開催し、クールビズファッションショーなどを手がけたことが思い出されます。それ以降、全県でのレジ袋の無料配布廃止や、G7富山環境大臣会合の本県での開催、そこで採択された「富山物質循環フレームワーク」に基づく取り組みなど、本県の環境施策は大きく進展してまいりました。

本年10月には、本県で「3R推進全国大会」が

富山県生活環境文化部長 須河 弘美

開催されることから、本稿では、この大会に向けた取り組みなどについてご紹介いたします。

2 これまでの取り組みと3R推進全国大会

本県ではこれまで、全国初の県単位でのレジ袋無料配布の取りやめや、エコストアでの分別回収の促進、小型家電リサイクルの推進などを全国に先駆けて実施してきました。

本年は、平成20年4月からスタートしたレジ袋無料配布取りやめからちょうど10年目にあたり、この間の各団体のみなさんの熱心な呼びかけにより、マイバッグ持参率は全国のトップを維持し

ています。

こうした取組みが認められ、本年10月に、「3R推進全国大会」が本県で開催されることになったものです。

【3R推進全国大会の概要】

開催日：平成30年10月12日(金)

場所：富山国際会議場

大会内容：式典、記念シンポジウムなど

＜併催事業：とやま環境フェア＞

開催日：平成30年10月13日(土)、14日(日)

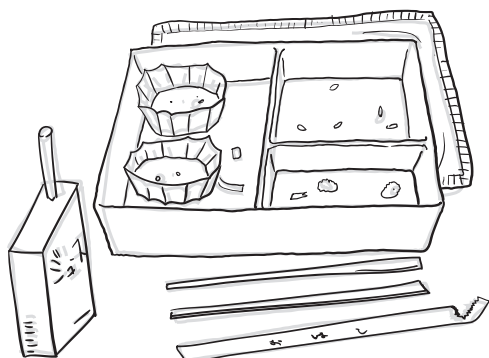
場所：高岡テクノドーム

3 全国大会に向けた本県の取組み

この全国大会に向け、本県の3Rへの機運をより一層高めるため、今年度は「いつでも、どこでも3R」と題した取組みや、食品ロス削減対策、海洋ごみ対策などを推進することとしています。

＜「いつでも、どこでも3R」＞

コンビニエンスストアなど小売形態の多様化、消費活動時間帯の変化など、ライフスタイルに変化が生じています。こうした多様なライフスタイルに対応できる新たな3Rの仕組みとして、小売店と連携した「いつでも、どこでも3R」を進めてまいります。具体的には、コンビニエンスストアなどで使いやすい、ストラップ付の小さな携帯型マイバッグの作成・配付や、県内の家電量販店店頭での小型家電の回収をモデル実施します。この成果は、3R推進全国大会で発表します。



＜食品ロス・食品廃棄物の削減＞

意識調査の結果、富山県民の「食品ロス」に対する認知度は全国に比べて低く、特に40代未満の認知度が低くなっています。また、家庭ごみの実態調査の結果、本県では「手付かず食品」の廃棄が多いことがわかっています。

これらのことから、家庭レベルで、食品ロス削減の重要性を認識し、食材の使いきりなどに取り組んでいくことが重要であるといえます。

このため、家族やグループ単位で食品ロスを出さない取組みを実践する「ロスゼロウィーク県民チャレンジ」の開催や、毎月30日と15日に冷蔵庫などをチェックして食材を使いきる「使いきり3015」の実践を促進します。

「富山物質循環フレームワーク」に名前を冠された県として、その名に恥じないようにしっかりと取り組んでまいります。

＜海洋ごみ対策＞

最近、マイクロプラスチック問題が大きく取り上げられており、世界的にも、ストローの廃止など、プラスチックの使用を減らす取組みが進んできています。本県でも、プラスチック類をはじめとして、河口付近に多くの漂着ごみが堆積しており、調査の結果、その8割は県内で発生したものと考えられています。

漂着ごみを減らすためには、県民一人ひとりが3Rの実践を進めるとともに、身近な場所で清掃美化活動を行っていただくことが大切です。

県では、エコストアなどでのトレイやペットボトルの回収・処理を推進してきたほか、県内全域での清掃美化活動を展開してきています。今年度からは、ごみ拾いが楽しくなる無料スマホアプリ「ピリカ」の利用をPRしており、自主的なごみ拾いを一層推進しようとしています。

来年10月には、「世界でもっとも美しい湾クラブ」総会が本県で開催されることとなっており、これに向けてきれいな富山湾で世界中の方々をお迎えしたいと考えています。

4 おわりに

「3R推進全国大会」の開催は、本県にとって、3Rを一層推進するとともに、全国に富山県の先進的な取組みを発信する貴重な機会です。

今後とも、組合の皆様のお力を得て取組みを進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

下水道整備から合併浄化槽設置への転換

立山町長 舟橋 貴之

立山町の公共下水道事業は、立山町、上市町、舟橋村を構成町村とする中新川広域行政事務組合（一部事務組合）において実施されています。立山町の汚水処理人口普及率は92.8%（平成29年3月末現在）であり、全国平均を2.4ポイント上回っているものの、県全体の平均を3.5ポイント下回っております。

また、下水道使用料等で下水道維持費や整備費等が賄いきれていないことから、構成町村が多額の負担金を拠出して賄っている状況にあり、中でも整備工事が今後も続く立山町の負担金は、当面、毎年度6億円前後で推移すると試算されています。

さらに中新川広域行政事務組合の計画では、未整備区域である8集落（集落の一部を含むと10集落）の整備が終了するのは、平成40年度となっており、早急な対応が迫られています。

一方で、未整備区域の各集落では、高齢化の急速な進行に伴い、老夫婦のみ居住する世帯が増加していることに加え、合併浄化槽が既に設置されている世帯がみられること、中山間地のため点在している家々があること、工事期間が長引くこと等から、下水道整備費用に見合った接続数が見込めないと考えられます。

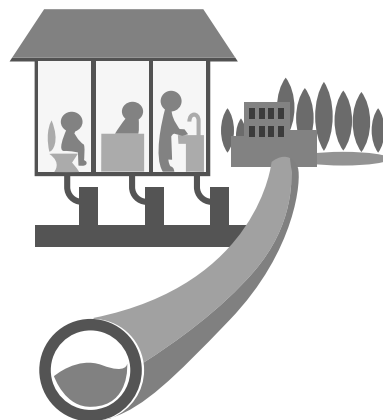
これらの状況を踏まえ、本年1月に、立山町行財政改革会議より、下水道未整備区域8集落においては、公共下水道整備事業から立山町が事業主体となる浄化槽設置事業へ転換し、早期

に未整備区域の汚水処理環境を改善することが望ましいとの提言を受けました。これを受けて立山町は、今年度から浄化槽整備対象区域及び下水道未認可区域の一部集落において、これまでの環境省の補助メニューの一つである補助金を交付することにより浄化槽整備を促す「浄化槽設置整備事業」に代えて、同省の「浄化槽市町村整備推進事業」を活用することとしました。

この「浄化槽市町村整備推進事業」は、浄化槽の設置希望者から町に申請があった場合に、町が住宅所有者の敷地内に浄化槽を設置し、町が保守点検や清掃等の維持管理を行うものです。

また、住民の希望に応じて整備する事業のため、確実な接続が見込まれ、公共下水道より大幅に整備費用が安価かつ短期間での整備が可能となります。さらに、住民の皆様にとっては、早期の水洗化が可能となり、維持管理の手間もなく、浄化槽設置時に納付する分担金や維持管理費用の一部となる使用料は、公共下水道事業と同額に設定されているため、費用面も含め、公平かつ安価であるというメリットがあります。

現在、下水道未整備区域の集落を対象に住民アンケートを実施しています。今後も住民ニーズの把握に努め、地域の実情に応じた施策を展開することにより、生活環境の保全と地域公衆衛生の向上を推進してまいります。



第26回立山環境美化登山

開催日：平成30年7月22日(日)

開催場所：国立公園立山室堂周辺 参加人数：50名

■第26回立山環境美化登山レポート

富山県環境保全協同組合 青年部 金井芳樹

7月22日(日)に第26回立山環境美化登山を開催しました。この事業は当組合が平成5年から26年間継続して実施しております。

富山県の代表的な観光地である立山に登り、自然公園美化の一環として、少しでも寄与ができれば活動の意義も高まるものと確信しております。

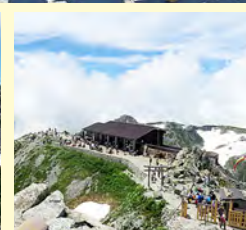
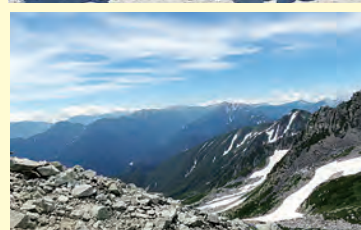
今年も組合員の家族のみならず、富山県環境政策課、(公財)とやま環境財団からも多数のご参加を頂き、総数50名で美化活動を実施することができました。

去年は雨でしたが、今年は晴天に恵まれましたので、景色を満喫しながら気持ちよくゴミ拾いができたと思います。

登山マナーとしての本意では、ゴミの量が少ないほど喜ばしいことではありますが所々にゴミが見つかり、18種143個を拾ってきました。

ゴミの量は少しずつ減っていますが、今回まだ100個以上も落ちていたので、ゴミの量が減るのは勿論のこと、登山者の環境保全に対する意識が向上していくよう願うばかりであります。

立山環境美化登山によるゴミゼロの年が来年?いや何年後になるのか楽しみに立山へ登りたいと思っております。



拾ったゴミの集計

ゴミの種類	数	ゴミの種類	数
お菓子の包み紙	12	衣類類・タバコの吸いがら	13
プラスチック類	8	ビニールひも	3
くぎやピン	3	食品包装紙・木片	9
輪ゴム・ガラス又は陶器の破片	6	空き缶のタブ・傷ばん	5
つまようじ	1	空き缶・ガム・発砲スチロール	2
ビニールや袋の破片	16	銀紙・割りばし	9
紙片	24	傘の一部・キャップ・葉・	
ゴム片	10	ストロー・鮎寿司用の笹の葉・布片・	3
針金	7	弁当の醤油入れ・ヘアバンド・	
金属片	9	ティッシュペーパー・ひも	
電池	1	ペン	2
合計		143	

平成29年度要望活動

市町村の委託又は許可で一般廃棄物の収集運搬業務を行っています。富山県環境保全協同組合として現場からの提案であったり、業務の安定、安全、安心のための要望等を毎年、県知事と県議会議長、市町村長と各議長に提出しています。都合がつけば市町村長に直接説明をすることもあります。私たちは法律を遵守しながら、住民の皆さんが安心して快適な生活ができるよう、日々こだわりを持って業務を行っています。行政においても担当者が数年で交代されるということもあり、情報提供として日頃の課題をお伝えする意味で要望書や陳情書を提出しています。



【平成30年度の要望概要】

- ・「一般廃棄物処理業務委託について安定かつ恒常的な適正契約締結について」
- ・「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理計画業務等の合理化に関する特別措置法（合特法）の遵守について」
- ・「単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換について」
- ・「浄化槽の信頼向上のために警報器を義務付け」

富山県環境保全協同組合

〒930-0171 富山県富山市野々上字地送6番地
TEL (076) 434-2802 FAX (076) 434-4440

■(株)朝日衛生社

〒939-0733 富山県下新川郡朝日町月山 2201
TEL (0765) 82-0585 FAX (0765) 82-2634

■(株)黒東アメニティ公社

〒939-0627 富山県下新川郡入善町桐山 802
TEL (0765) 72-2822 FAX (0765) 74-1422

■黒部クリーン(株)

〒938-0015 富山県黒部市北野 47-2
TEL (0765) 52-0047 FAX (0765) 52-5222

■(株)魚津清掃公社

〒937-0807 富山県魚津市大光寺 61-1
TEL (0765) 22-0311 FAX (0765) 23-0536

■(株)公生社

〒936-0803 富山県滑川市栗山 3596
TEL (076) 477-1114 FAX (076) 477-1628

■(株)婦中衛生

〒939-2759 富山県富山市婦中町友坂 252
TEL (076) 465-5332 FAX (076) 465-5382

■クリーン産業(株)

〒939-8211 富山県富山市二口町 1-7-13
TEL (076) 421-5626 FAX (076) 421-5640

■(株)アースクリーン21

〒934-0056 富山県射水市寺原原 905-3
TEL (0766) 84-6648 FAX (0766) 84-4055

■新高清掃(株)

〒939-0285 富山県射水市本間発 550
TEL (0766) 55-1373 FAX (0766) 55-2315

■(株)アムテック

〒935-0025 富山県氷見市駿川 1383
TEL (0766) 72-5656 FAX (0766) 72-1808

■(株)高岡市衛生公社

〒933-0008 富山県高岡市材木町 731
TEL (0766) 23-2228 FAX (0766) 28-1154

■デムラ工業(株)

〒933-0806 富山県高岡市赤祖父 557-3
TEL (0766) 23-7155 FAX (0766) 23-2495

■(株)クリーンアクト砺波

〒939-1345 富山県砺波市林 1316
TEL (0763) 32-1235 FAX (0763) 33-2431

■日環サービス(株)

〒939-1542 富山県南砺市梅ヶ島 167-1
TEL (0763) 22-2922 FAX (0763) 22-7347

■(株)福岡クリーン・アルファ

〒939-0121 富山県高岡市福岡町下老子 4
TEL (0766) 64-6677 FAX (0766) 64-6668

■(株)小矢部衛生工業

〒932-0121 富山県小矢部市矢水町 672
TEL (0766) 61-4277 FAX (0766) 61-4258

■(株)井波庄川衛生工業

〒932-0315 富山県砺波市庄川町示野 182
TEL (0763) 82-1164 FAX (0763) 82-6665